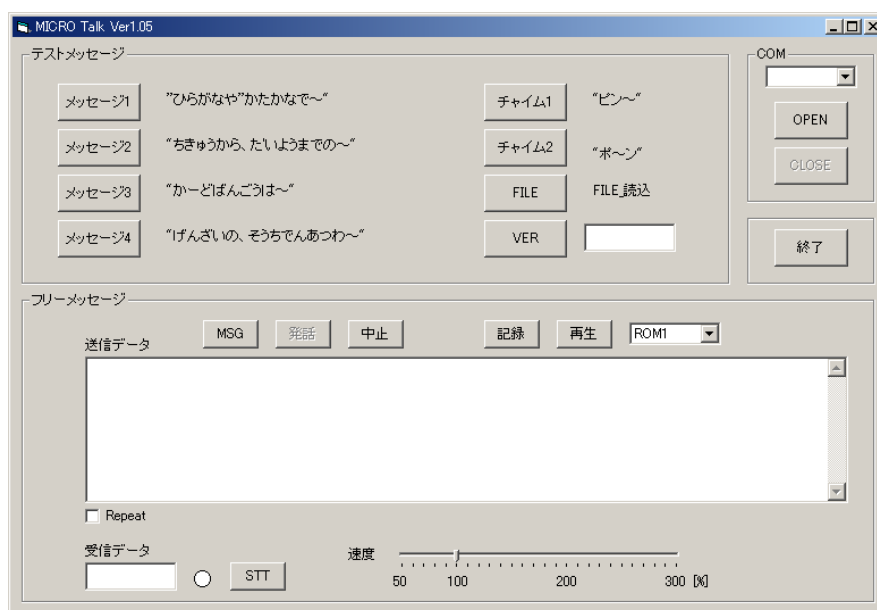


アプリケーションソフト操作説明 Ver.1.05

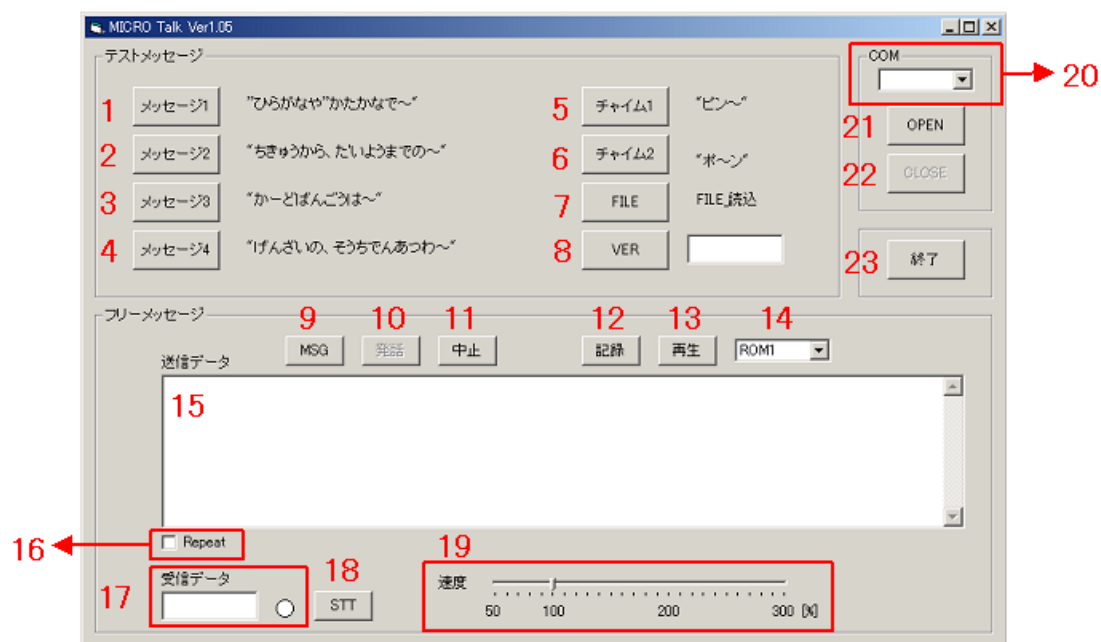
本書では、MICRO TALK 評価用キットに付属しているアプリケーションソフトウェアの画面や操作方法について説明します。

1 アプリケーションの起動

[スタート]-[プログラム]-[MICRO TALK]-[MICRO TALK]もしくは、アプリケーションをインストールした際にディレクトリで指定したフォルダ内の[MICRO TALK.exe]をWクリックすると、MICRO TALK アプリケーションが起動します。



2 アプリケーションパネルの名称一覧

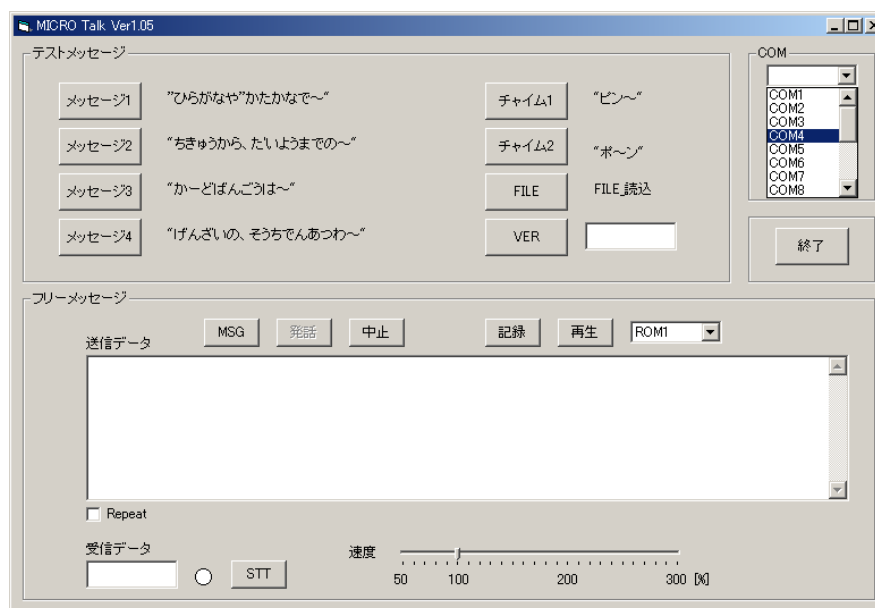


番号	名称	番号	名称
1～4	テストメッセージボタン	15	送信データ入力画面
5, 6	チャイム音テストボタン	16	Repeat チェックボックス
7	テキストファイルの読み込みボタン	17	受信データ表示欄
8	MICRO TALK のバージョン情報表示ボタン	18	STT ボタン
9	MSG ボタン	19	発話速度調整バー
10	発話ボタン	20	COM の選択ボタン
11	中止ボタン	21	OPEN ボタン
12	記録ボタン	22	CLOSE ボタン
13	再生ボタン	23	終了ボタン
14	EEPROM ブロック (ROM1～32) の選択ボタン		

3 MICRO TALK の通信設定

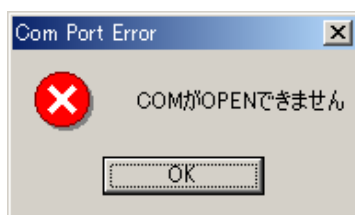
COM ポートの設定を行います。

COM 欄の▼をクリックし、MICRO TALK が設定されている COM ポートを選択します。



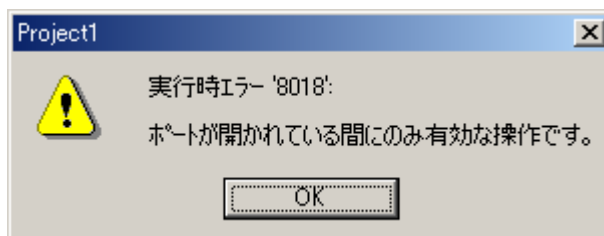
COM ポートを設定し、OPEN ボタンをクリックすると、MICRO TALK との通信が可能（通信ポートが開かれている状態）になります。

COM ポートの設定が間違っていると、Com Port Error のメッセージが表示されます。



※ COM ポートの確認方法については、インストール手順書を参照してください。

また、通信ポートが開かれていない状態で“記録ボタン” “再生ボタン” “STTボタン” “VERボタン” “チャイム1” “チャイム2”のボタンを押すと、実行時エラー'8018'が発生し、強制的にアプリケーションが終了しますのでご注意ください。

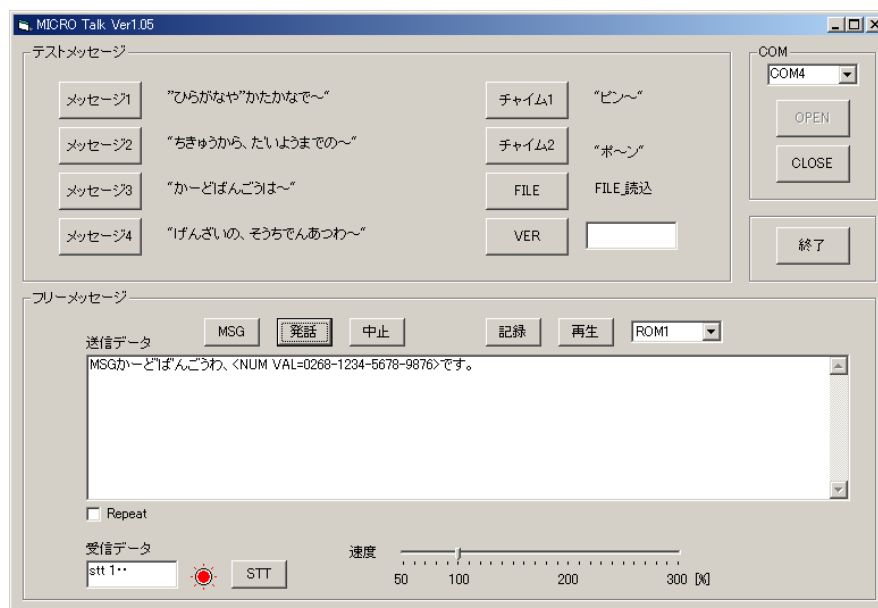


4 基本操作

4.1 受信データのステータスについて

発話中は、受信データ欄に”STT 1”が表示され、赤いランプ点灯します。発話が終了すると、ランプは消えます。

ランプが赤く点灯している間は、発話速度の変更を行うことはできません。



4.2 テストメッセージを発話する

通信ポートが開かれている状態で、メッセージ 1~4 のいずれかのメッセージボタンを選択して、発話ボタンを押します。

- ※ ランプ点灯中に送信データ欄の内容を変更しても、発話中のデータを変更することはできません。変更した内容は、次に発話ボタンを押した時に有効となります。

4.3 新規メッセージの作成および発話

新規メッセージの作成を行う場合は、”MSG” ボタンを使用します。

MSG ボタンを押すと、送信データ欄に“MSG”の文字が入力されます。

“MSG “の後に、発話させたい文章を入力し、発話ボタンを押します。

“MSG “はキーボードから入力してもかまいません。

発話させたいメッセージが複数ある場合は、改行して文頭に”MSG”をつけ、続けて文章を入力します。

- ※ 1 メッセージに入力できる文字数は 512 バイト（ひらがな換算で 256 文字）です。512 バイトを超えて文字を入力したときは、エラーとなり、発話ボタンを押しても音声は出ません。
- ※ 区切り記号や句読点の入らない連続した文字列の場合、LSI 内部の処理が過大となり、512 バイト以内の文字数でもエラーが発生する場合があります。

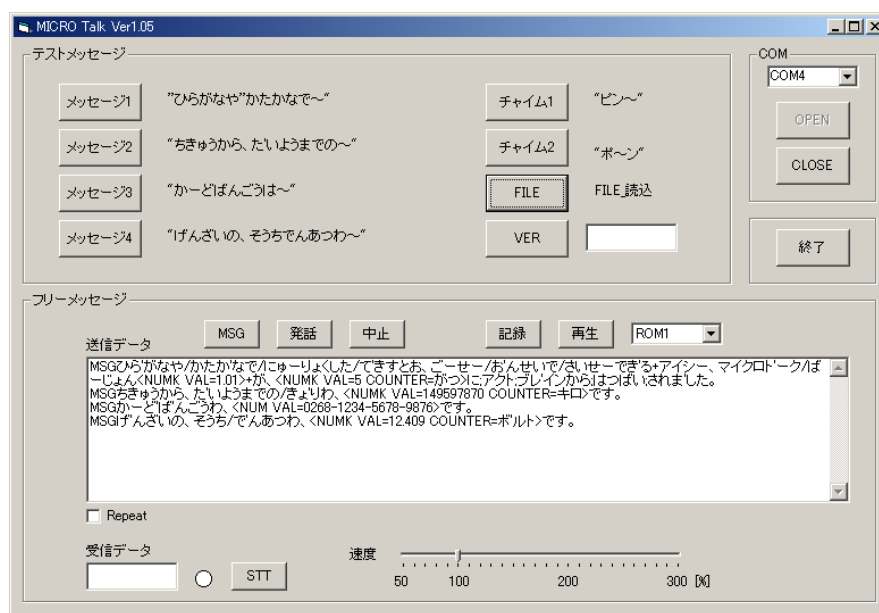
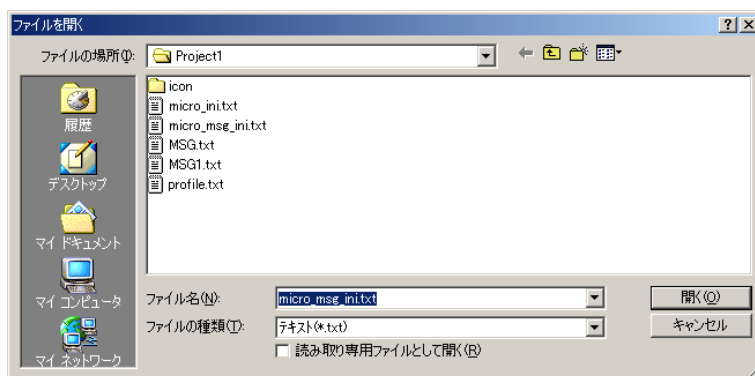


文字種類	バイト数	文字種類	バイト数
ひらがな 1 文字	2 バイト	アルファベット 1 文字	1 バイト
カタカナ 1 文字	2 バイト	数字 1 文字	1 バイト
句読点	2 バイト	記号 1 文字	1 バイト

- ※ アルファベット、数字、記号は半角のみ使用可能です。

4.4 テキストファイルを読み込んで発話させる

FILE ボタンを押して、読み込みたいファイルを選択し、“開く”を押します。送信データ欄にテキストファイルに入力したデータが表示されたら、発話ボタンを押します。



<テキスト例>

ちきゅうから、たいようまでの/きょ'りわ、<NUMK VAL=149597870 COUNTER=キロ>です。

かーど'ばんごうわ、<NUM VAL=0268-1234-5678-9876>です。

げんざいの、そうち/でんあつわ、<NUMK VAL=12.409 COUNTER=ボルト>です。

※ 改行することにより、メッセージを分けることができます。

※ テキストファイルを利用する場合は、文章の頭に”MSG”をつけないで下さい。

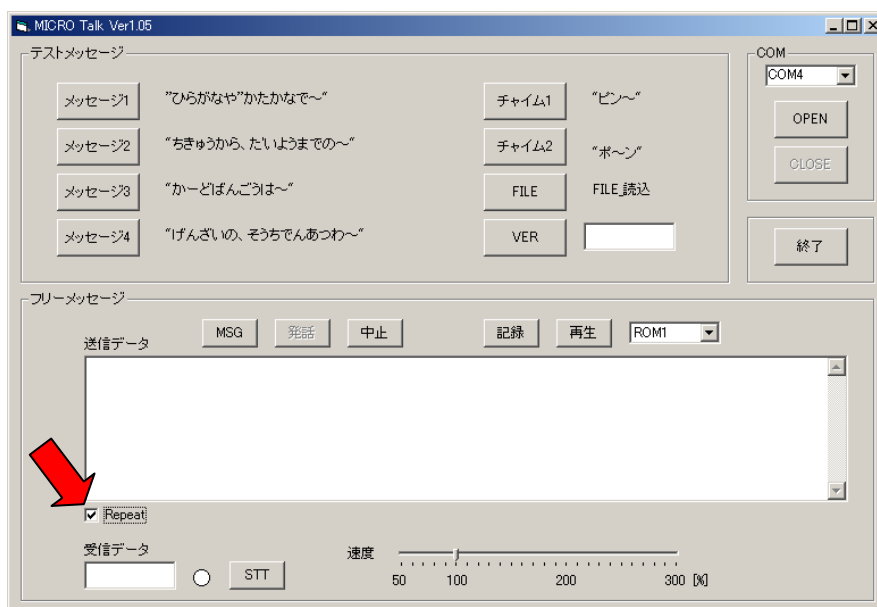
4.5 同じ内容のメッセージを繰り返し発話する

同じ内容のメッセージを繰り返し発話させる場合は、Repeat チェックボックスにチェックを入れます。

チェックを入れると、送信データ欄内に入力されているメッセージを繰り返し発話します。

このチェックボックスは、発話中でも有効に機能します。

繰り返しを無効にするには、再度チェックボックスをクリックしてチェックをはずします。



4.6 EEPROM にメッセージを記録、再生する

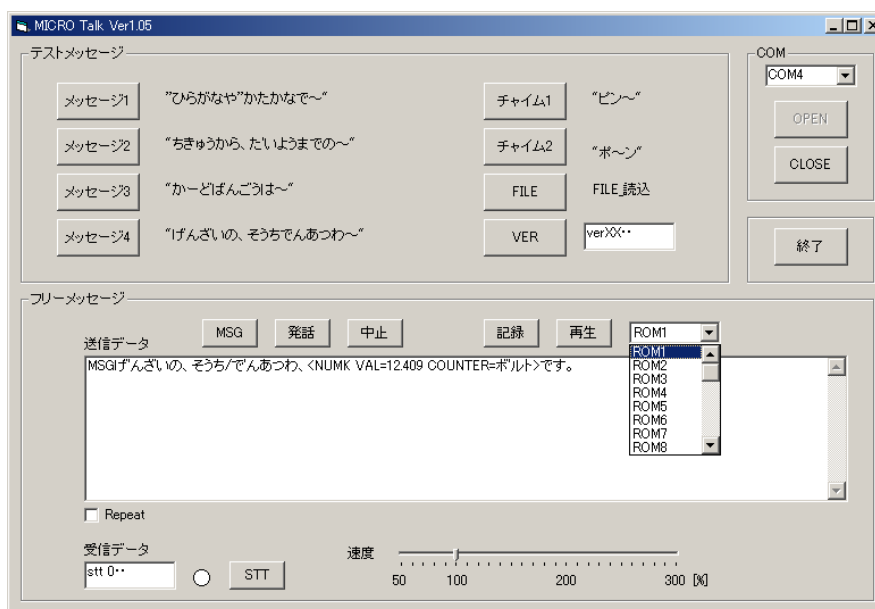
送信データ欄に入力されたメッセージを外部の EEPROM に記録する場合は、記録ボタンを押します。

メッセージは、EEPROM ブロック (ROM1~32) の選択ボタンで選択されているブロックに記録されます。

記録ボタンを押すと、記録が完了するまでマウスのアイコンが砂時計マークに変わります。

記録が完了すると、マウスのアイコンは元に戻ります。

メッセージを再生するには、EEPROM ブロック (ROM1~32) の選択ボタンで、ブロックを選択し、再生ボタンを押します。



EEPROM には 32 個のブロックがあり、32 種類のメッセージを記録させることが可能です。

1 ブロックに記録できるデータは最大 256 バイトです。

ただし、1 ブロックにつき 1 メッセージのため、256 バイト以下であっても、1 ブロックに複数のメッセージを記録することはできません。

4.7 発話を中止する

発話を中止する時は、中止ボタンを押します。

このボタンは、押された瞬間には機能せず、次のメッセージへ移行する際に有効となります。

このため、リピートがかかっている場合や、発話するメッセージが複数ある場合にのみ有効です。

4.8 発話速度を変更する

発話速度を変更するには、発話速度調整バーを使用します。

発話中はスライダーの操作は無効となります。

スライダーは、受信データ欄のランプが消えているときに行ってください。

◎ スライダーの移動

・ 右へ移動 : 速く

・ 左へ移動 : 遅く

5 その他の操作

5.1 MICRO TALK のステータスを確認する

STT ボタンを押すと、MICRO TALK のステータスを確認することができます。

5.2 プログラムのバージョンを確認する (ATS001)

VER ボタンを押すと、ATS001 のプログラムバージョンを確認することができます。

MICRO TALK について問い合わせをする際に必要になる場合があります。

<ご注意>

評価用基板で USB 電源をご利用の場合は、お使いのパソコンによっては「シャー」というノイズ音が入る場合があります。あらかじめご了承ください。

本書についてのご意見、ご質問などがございましたら、下記宛にご連絡くださいますようお願い致します。

株式会社アクト・ブレイン

act-admin@actbrain.jp

改版履歴

変更日	Ver.	項目	変更内容
07/12/07	1.02	巻末 <ご注意>	ノイズ音に関する説明を追記
08/08/29	1.03	LSI 型式	ARS001A を ATS001 に変更 ※ ATS001A/001B 共通アプリのため
08/09/18	1.04	巻末 <ご注意>	ノイズ音に関する説明を一部修正
10/05/28	1.05	新規メッセージの作成および 発話	連続した文字列を送信した場合にエラーとなる可能性を追記